

(雑録)

1. 学会誌等発表論文

- Partial purification of a pathogenic substance from *Flavobacterium* species which causes Suminori disease in nori *Porphyra* species.
Yoshio Kawamura · Satoru Suzuki · Shinsei Gasa · Riichi Kusuda, *Microbios.* 92, 139-145 (1997).
- Induction of larval metamorphosis in the sea cucumber *Stichopus japonicus* by periphitic diatoms.
Shiro Ito · Hitoshi Kitamura, *Hydrobiologia*, 358, 281-284 (1997).

2. 各種雑誌等

- プロトプラストの培養およびその種苗化への応用 —アマノリ類のバイオテクノロジー応用と展望—。
川村嘉応 · 青戸泉, 月刊 海洋 海洋出版, 27 (11), 661-665 (1995).
- 今月の作業 —ノリ—。
川村嘉応, 養殖 (6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3, 4, 5), 緑書房 (1996, 1997).
- 佐賀県におけるスッポンの疾病発生状況とその対応。
千々和行典, 養殖, 11, 78-80, 緑書房 (1995).
- Technical development in seed production of the Japanese sea cucumber, *Stichopus japonicus*.
Shiro Ito · Hitoshi Kitamura, *SPC Beche-de-mer information Bulletin*, 10, 24-28 (1998).
- アゲマキガイ。
吉本宗央, 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック (水産庁編), 52-53 (1998).
- 九州沿岸域の主要漁業種の資源の現状と問題点 有明海湾奥部におけるアゲマキ資源の変動。
吉本宗央, 水産海洋研究, 62 (2), 121-125 (1998).
- 世界の海藻養殖。
川村嘉応, 海苔と海藻, 58, 27-30 (1999).
- The cultivation of *Porphyra* (nori) in Japan.
Hitoshi Kito · Yoshio Kawamura, *World aquaculture*, 30 (2), 35-39 (1999).

3. 研究会報告書等

- のり酸処理試験研究成果の概要。
佐賀県有明水産振興センター, 水産庁, 52 (1995).
- 平成6年度学術の成果を生かした内外地域間交流モデル事業報告書 有明海の養殖漁業 —ノリ養殖業を中心に—。
川村嘉応, 日本学術会議, 112-116 (1995).
- 第69回全国湖沼河川養殖研究会大会要録 ムツゴロウの種苗生産。
鷺尾真佐人, 103-109 (1996).

4. 調査報告書, 事業報告書

- 平成7年度地域特産種量産放流技術開発事業 魚類・甲殻類グループ 総合報告書コウライエビ。
野田進治 · 野口敏春 · 有吉敏和, 39 (1996).
- 平成6年度地域重要新技術開発促進事業報告書 ノリの品質特性評価と生産管理技術に関する研究。
川村嘉応 · 鷺尾真佐人 · 中尾義房 · 山口忠則 · 千々波行典 · 野口敏春, 33 (1995).
- 平成6年度九州海域赤潮調査報告書 珪藻類の出現状況と水質環境。
野田進治 · 野口敏春, 43-54 (1995).
- 平成6年度地域バイオテクノロジー実用化技術研究開発促進事業報告書 ノリのプロトプラスト種苗の利用による地域に適合した新品種の開発。

- 山口忠則・川村嘉応・野口敏春, 10 (1995).
- ・平成7年度地域重要新技術開発促進事業報告書 ノリの品質特性評価と生産管理技術に関する研究。
川村嘉応・鷺尾真佐人・山口忠則・千々波行典・野口敏春・吉本宗央, 25 (1996).
 - ・平成7年度地域バイオテクノロジー実用化技術研究開発促進事業報告書 ノリのプロトプラスト種苗の利用による地域に適合した新品種の開発。
山口忠則・川村嘉応・野口敏春, 8 (1996).
 - ・平成7年度養殖水産動物保健対策推進事業報告書 佐賀県のスッポン養殖。
千々波行典, 21 (1996).
 - ・平成8年度地域重要新技術開発促進事業報告書 ノリ養殖における生産阻害因子の発生動態とその制御技術の開発。
伊藤史郎・首藤俊雄・川村嘉応・鷺尾真佐人・横尾一成・吉本宗央, 23 (1997).
 - ・平成8年度地域先端技術共同研究開発促進事業報告書 DNA解析等によるアマノリ品種の識別技術の開発。
鷺尾真佐人・伊藤史郎・川村嘉応・吉本宗央, 10 (1997).
 - ・平成8年度赤潮対策技術開発試験 海域特性による赤潮被害防止技術開発試験 九州西岸域赤潮広域共同調査報告書。
中島則久・首藤俊雄・小野原隆幸, 5-13, 92-93 (1997).
 - ・平成8年度重要甲殻類栽培資源管理手法開発調査報告書 (エビグループ)。
有吉敏和・吉本宗央, 有 1-30 (1997).
 - ・平成8年度バイテク利用養殖システム高度化事業報告書 バイテクを利用したノリ病害発生予測技術の開発に関する研究。
川村嘉応・鷺尾真佐人・伊藤史郎・吉本宗央, 13 (1998).
 - ・平成9年度赤潮対策技術開発試験 海域特性による赤潮被害防止技術開発試験 九州西岸域赤潮広域共同調査報告書。
中島則久・古川泰久・小野原隆幸, 5-12, 86-87 (1998).
 - ・平成9年度地域重要新技術開発促進事業報告書 ノリ養殖における生産阻害因子の発生動態とその制御技術の開発。
横尾一成・首藤俊雄・川村嘉応・鷺尾真佐人・吉本宗央・小野原隆幸, 26 (1997).
 - ・平成9年度地域先端技術共同研究開発促進事業報告書 DNA解析等によるアマノリ品種の識別技術の開発。
鷺尾真佐人・横尾一成・川村嘉応・吉本宗央, 11 (1998).
 - ・平成9年度バイテク利用養殖システム高度化事業報告書 バイテクを利用したノリ病害発生予測技術の開発に関する研究。
横尾一成・川村嘉応・吉本宗央, 10 (1998).
 - ・平成10年度地域先端技術共同研究開発促進事業報告書 DNA解析等によるアマノリ品種の識別技術の開発。
横尾一成・荒巻裕・鷺尾真佐人・川村嘉応・吉本宗央, 7 (1999).
 - ・平成10年度バイテク利用養殖システム高度化事業報告書 バイテクを利用したノリ病害発生予測技術の開発に関する研究。
横尾一成・荒巻裕・川村嘉応・吉本宗央, 10 (1999).

5. 学会における口頭発表

- 平成7年度日本水産学会秋季大会 (1995年9月, 京都大学)
 - ・スミノリ病原体から分離された *Flavobacterium* sp. の産生する病原物質。
川村嘉応・鈴木聡・楠田理一
- International symposium on Live Food Organisms & Environmental Control for Larviculture of Marine Animals (1996年9月, 長崎市)
 - ・Induction of larval metamorphosis of the marine invertebrate animals by the periphitic diatom.
Shiro Ito・Hitoshi Kitamura
- 平成9年度日本水産学会秋季大会 (1997年9月, 広島大学)
 - ・有明海・橘湾 (天草海) におけるクルマエビの生態 I—クルマエビ属ポスターバの有明海への移入と稚エビの分

布.

梅本敬人・上田拓・安元進・有吉敏和・皆川恵

- ・有明海・橋湾（天草海）におけるクルマエビの生態Ⅱ—移動と成長.

上田拓・有吉敏和・梅本敬人・安元進・皆川恵

- ・有明海・橋湾（天草海）におけるクルマエビの生態Ⅲ—産卵期および産卵場.

皆川恵・安元進・有吉敏和・梅本敬人・上田拓

- ・有明海・橋湾（天草海）におけるクルマエビの生態Ⅳ—同海域における生活史について.

安元進・上田拓・梅本敬人・有吉敏和・皆川恵

- World Aquaculture'98 (1998年2月, ラスベガス, USA)

- ・The culture of *Porphyra* (nori) in Japan.

Hitoshi Kito・Yoshio Kawamura

- 平成10年度日本水産学会春季大会 (1998年4月, 東京水産大学)

- ・播磨灘, 有明海および大村湾における珪藻 *Coscinodiscus walesii* の造精細胞形成を促進する細菌の分布について, 長井敏・岩佐隆宏・中島則久・古原和明・今井一郎

- 平成11年度日本付着生物学会 (1999年4月, 東京水産大学)

- ・ウミタケ浮遊幼生の飼育と着底・変態.

伊藤史郎・江口泰蔵

- 平成11年度日本水産学会春季大会 (1999年4月, 東京水産大学)

- ・RAPD-PCR法によるアカグサレ病菌のDNA多型分析.

横尾一成・川村嘉応・水上譲・鈴木聡・東條元昭

- ・ノリ養殖におけるアカグサレ病菌の生活環に関する研究-I 海底泥中からのアカグサレ病菌の分離.

川村嘉応・横尾一成・東條元昭

- 平成11年度日本水産学会春季大会 シンポジウム (1999年4月, 東京水産大学)

- ・アマノリ研究の現状 選抜育種.

川村嘉応

- シンポジウム 棘皮動物学の現在 —古代生物・生物学・水産学— (1999年3月, 東京工業大学)

- ・マナマコの増養殖.

伊藤史郎

6. 研究会等における口頭発表

- ・日本学術会議「有明の海と人」フォーラム共同研究 (1995年3月, 熊本大学)

『有明海の生物と漁業』有明海の養殖漁業 —ノリ養殖業を中心に—.

川村嘉応

- ・第4回マリンバイオテクノロジー研究発表会 (1995年5月27日, 東京水産大学)

アマノリ類のバイオテクノロジーと応用への展望 プロトプラストの培養と育種への応用.

川村嘉応・山口忠則

- ・平成7年度西海ブロック水産業関連試験研究推進会議資源増殖部会 藻類分科会 (1995年6月, 長崎)

環境制御培養系を用いたアマノリ類新品種選抜技術の開発.

鷲尾真佐人

- ・第13回ノリ養殖技術問題研究会 (1996年8月, 東京)

環境制御培養系を用いたアマノリ類新品種選抜技術の開発.

鷲尾真佐人

- ・平成9年度西海ブロック水産業関連試験研究推進会議資源増殖部会 藻類分科会 (1997年6月, 長崎)

新品種 (新佐賀1号) の導入について.

川村嘉応

- ・第14回ノリ養殖技術問題研究会（1997年8月，東京）
佐賀県有明海域における植物プランクトンの発生と漁場環境。

川村嘉応

- ・水産海洋地域研究集会（1997年9月，鹿児島大学）
九州沿岸域の主要漁業種の資源の現状と問題点 有明海湾奥部におけるアゲマキ資源の変動。

吉本宗央

- ・第69回全国湖沼河川養殖研究会（1998年9月，唐津）
ムツゴロウの種苗生産。

鷺尾真佐人

- ・放流効果調査事例検討会（1999年3月，東京）
有明海におけるクルマエビ放流効果調査事例。

伊藤史郎

- ・第1回浅海漁場分科会（1999年8月，長崎）
平成10年夏季における有明海佐賀県海域で発生したシャトネラ赤潮。

中島則久

- ・第16回ノリ養殖技術問題研究会（1999年8月，東京）
ノリ養殖における生産阻害要因について ー栄養塩の動向ー。

川村嘉応